

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 名古屋市立愛知小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒454-0803
名古屋市中川区豊成町1-35

E-mail : aichi-e@nagoya-c.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 143名 女子 126名 合計 269名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校では、国際理解教育を中心とした ESD の推進に取り組んできた。JICA を訪問したり、EIUP（名古屋大学大学院国際理解教育プログラム）や、名古屋国際センターより外国人を講師として招いたり、多くの協力を得て、児童が直接文化に触れ、体験することができるようにした。

今年度は、フィリピンのラクソン小学校と、アートマイル壁画の制作を通して交流が始まり、スカイプを活用してテレビ会議を行ったり、作品交流を行ったりした。さらには、ラクソン小学校の校長先生を始め、3名の先生方に来校していただくことができ、ラクソン小学校の様子を聞いたり、日本の伝承遊びを行ったりすることができた。

それらの活動を通して、他国の文化や素晴らしさ、世界規準で物事を捉えることの必要性に気付くことができた児童が多くいた。こうした学びを子どもたちの日常に結びつけ、活用する力をつけることで、自尊感情の高まりや互いを尊重し合う態度を育てていくようにしている。

学 年	テ ー マ
1 年	あいさつ・遊び
2 年	生き物・命
3 年	自文化（地域）
4 年	水
5 年	開発途上国
6 年	自文化（伝統）・国際交流
特別支援学級	コミュニケーション

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（)